

ひとひと
支えあい、男と女がともに築くまち

杜のほほえみ

No.7



—わたしたちと一緒に ほほえみのまちづくり—

男女共同参画都市宣言

わたしたちは

「互いを認め合い思いやる、健康で心豊かな」ほほえみの人づくり・家庭づくり」をめざします

「男女がともに働きやすい環境を整え、仕事と生活が調和する」ほほえみの職場づくり」をめざします

「性別や世代にとらわれず、交流と参画により躍動する」ほほえみの地域づくり」をめざします

「国際的な視点を持ち、子どもたちが未来に夢をもてる」ほほえみの社会づくり」をめざします

目次

委員長あいさつ・研修会報告	2~3
家庭・地域部会報告	4
職場部会報告・四コマまんが・クイズ	5
グループ紹介 ほか	6

視点を变える

お互い認め合う社会を目指して

北杜市男女共同参画推進委員会

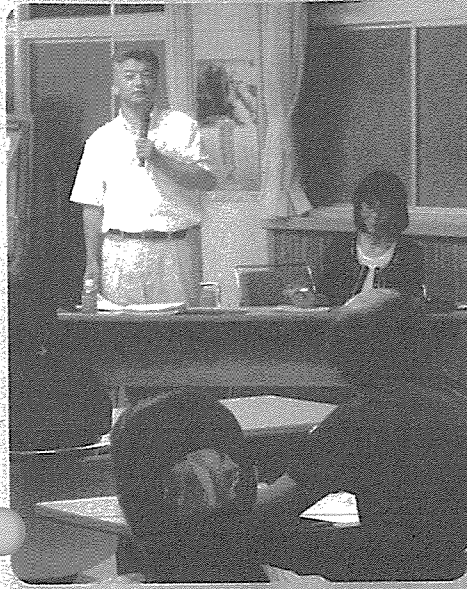
委員長 小泉 徹

男女共同参画宣言をして、はや、一年が過ぎました。推進委員

員会メンバーも今年度新しく生まれ変わりました。各地域の皆さん30名で頑張っていますのでぜひ、ご指導ご協力をお願いします。

さて、今、なぜ「男女共同参画推進」が必要なのでしょう。

新しく推進委員になられた方にこの「杜のほほえみ」をお渡しすると「えーっ、こんな情報紙があったんですか。」という声もかなり……。言葉は聞いたことはあるけど、よくわからない……。という声をよく聞きます。



す。そもそも「男女共同参画……」という言葉に抵抗感を持たれる方が僕のまわりにもたくさんいます。しかも、誤解をされていることも多々感じます。ですから、男女共同参画って何？と思われる方はたくさんいらっしゃるのであるのでしょうか。

では、「今、毎日の生活環境に満足していますか。」とあなたが尋ねられたらどんなふうに考えますか。地域においても、家庭においても、会社においても「もっと、こうした方がいい」とか、「ここを変えるともしかししたら、

もっと楽しくなるかも……なんて思ったことありませんか。その反面、「こんなこと言っても誰も聞いてくれないし、聞いてくれないどころか、かえって反感をかってしまうかも……」そんなことも考えたことはありませんか。男女共同参画とは、男が……とか、女が……とか言うのではなく、毎日の生活がより良くなるようにと視点を考えてみる必要があります。一歩だと考えています。

社会の問題は大小たくさんあります。解決できない大きな問題もありますが、地域のひとと一緒に考えたり行動すれば、解決できたり、少しでもいい方向に進んだりするものもたくさんあります。今までの仕組みや考え方は、解決できないことがまだまだたくさんあるのではないのでしょうか。今までのやり方では前に進まなかった課題も角度を変えて取り組んでいきたいものです。その視点を変えた考え方が男女共同参画だと思っています。

今年、男女共同参画的な考えのまちづくりについて推進委員が自ら勉強し活動してまいりました。

今後も市民の皆さんに少しでも興味を持っていただけるよう推進委員一丸となって活動していきたいと思っています。

男女共同参画推進委員会・研修会報告

えっ、これって男女共同参画なの？

講師：山梨大学教育人間科学部教授

栗田真司 先生

「男女共同参画」って、何なの？毎月集まって、私は何をどうしたらいいの？

よその家庭に外から大きなお世話？一生懸命やっているのに、なんだか空回りしているみたい。大幅にメンバーが入れ替わった今期の委員会。試行錯誤で3ヶ月頑張ったんだけど、どうもモヤモヤは解消せず。それならいっそ「教えて〜栗田先生〜！」というところで、昨年9月の定例会の中で栗田真司先生に研修会をお願いしました。



のです。

それでもよく分からないときに私が呼ばれるようですが、男女共同参画の専門家ではないので、皆さんのご質問に対する答えは簡単には出せません。」

一同 「シユン……」

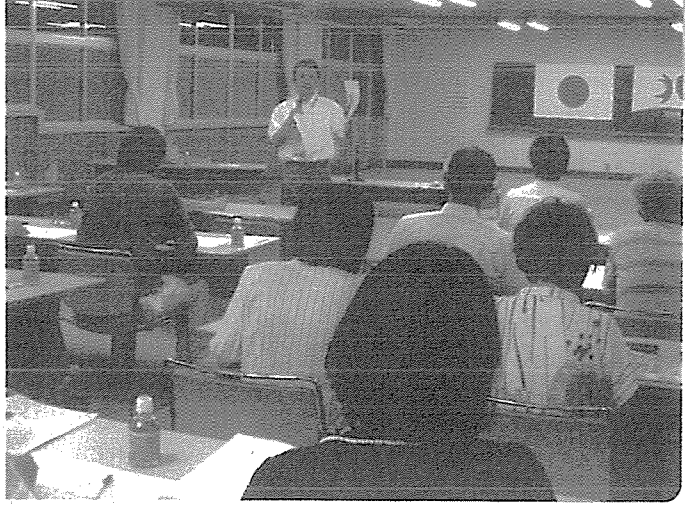
先生 「でも今日は私が思っていることをお話します。」

一同 「ホッ……」

以下、先生からのヒントをご紹介します。

男女共同参画のジェンダー（社会的・文化的性差）を謳わない活動

「男女共同参画」の言葉が浸



透するにつれ、逆に引かれてしまふことがあります。女性をトップにして日本を変えよう、女性の政治家を増やそう、というの、それはそれで重要ですが、私たちがそこに目標を持っていくとちよつとしんどい。もう少し身近なことから、一見関係なさそうですが、地域ボランティアやまちづくりだって「男女共同参画」です。

たとえば、「男女共同参画」の生涯学習。小中高はもとより大卒以降も、家庭でも学校でも職場でも地域でも、一生涯が続けることが生涯学習。一度止めてしまうと、その段階で固定

観念で頭が固まっちゃいます。若かりし頃大学で学んだ最先端の技術は、今では時代遅れ、という。学んだほうが自分の思考を柔軟にできて、作り変えることができて、学び続けないと悩みは増すばかり。

そして小さいときから学んでいないと、大人になってから考えを変えるのは大変。同じ手間をかけるなら、まだ固定観念のない子供を、という手もありますね。幼稚園や小学校にどんとん出前しちゃいましょう。

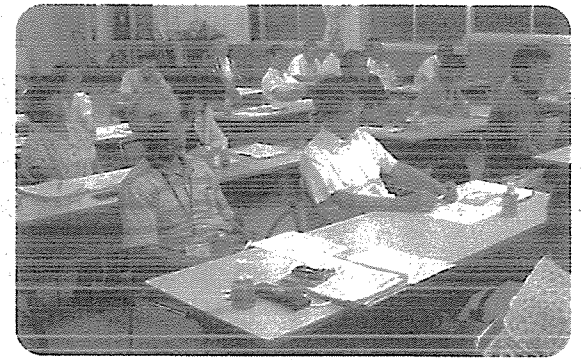
そして、「まちづくり」は「男女共同参画」

生涯学習の中で扱われるテーマに「まちづくり」というのがあります。ハードの整備の「街づくり」ではありません。人づくり、絆作り、仕組みづくり、ハードの「まちづくり」です。身近なことが今の時代に合っているのか、不具合はないのか、もつと楽しくならないか。みんな考えて仕組みを作ったり変えたり、ルールを作ったり変えたり。

これって、「男女共同参画」と似ていませんか？

ということ、

「まちづくり」がちよつと気になりだした我々



①あることをしたい、という共通の思いを持った少数の身近な仲間からはじめましょう。

河川敷の草刈をして、その後みんなでバーベキューなんてのもOK。進んで後かたづけをするお父さんの姿を、ぜひ子供に見せてね！

②批判と否定はやめよう、パツを付けるのはやめよう、をルールに。そして自分自身も変わらな

③老若男女、大人も子供もこつた煮の仲間をやりますよ。思いがけないことに気付いたり、新鮮な意見が出てきますよ。

④ないものねだりより、あるもの

の探し。不満をひっくり返せば夢になる。

⑤ついでに、いろいろ活動を進めるに従って、お金も必要になってきます。そんなときにはぜひ補助金も調べてみましょう。

「え、これって男女共同参画なの？」

そうです、ぜんぜんかまいません。根っこにやるべきことがあるかもしれない、というところからはじめましょう。

でも、すぐには見つかりませんから。見つかったらめっけもんぐらいの気持ちでね！

先生は一時間以上かけて、「まちづくり」の具体例やご自身の経験を交え、丁寧に、そしてユーモアにあふれたお話をしてくださいました。もやもやが少し晴れたような気がします。これなら頑張れそうだし、何か面白そうです。皆さんはいかがですか？

なお、講演の詳しい内容をご希望の方は、市役所企画課までお問い合わせください。

(兼田 暁)

参加者の声

推進委員になりましたが、戸惑っていました。栗田先生の講演は、背中を押してくれました。

遅くはない、私も一歩踏み出そうと思いました。

(女性 60代)

「男女共同参画」というと、漠然として捉えどころがなくよくわかりませんでした。今回、先生の研修で地域でのいろんな活動を活性化させていく工夫が大切であり、その過程のなかで男性も女性も自然なかたちで参加して盛り上げていく事ができればそれはもつと良い事です。と聞き、自分なりに理解出来たように思います。

(男性 60代)

性別による平等ということを意識しているうちは、本当の平等ではないと思います。もつとあらゆる方面で意識せず、自然に自由に参画できる社会になるといいですね。

(女性 50代)

家庭部会

夫婦円満の秘訣

家庭部会は、前期まで紙芝居の出前講座を通して啓発活動に努めてきました。

今期は新しい委員が多いため、活動を始める前に、その月毎にテーマを決め、家庭や地域について話をしました。結論や正解のない内容に、これから何をするのかわからないという不安や疑問も出ました。しかし話をすることでお互いの理解が深まったり、気づきや意識することの大切さを知ることになったり、この時間は有意義でした。

9月の研修会には栗田先生を迎え、男女共同参画は生涯学習であり、すべての人々が住みやすい地域づくりであると再認識しました。具体的な活動として何をしていくか一歩前に進みました。身近なこととして少子化、離婚、未婚など現代社会が抱える問題が出てきましたが、あまりにも大きいので続けることにし、家族の最小単位である「夫婦」に焦点を当ててこ



▶ 熱心な話し合いが続きます

とにしました。夫婦関係が一番の基礎になると考えたからです。夫婦関係が円滑にいく秘訣は「会話」にあるというアンケート結果があります。その会話をよりよくするために夫婦のコミュニケーションについて学んでいこうということになりました。

コミュニケーションはお互いを理解するのに欠くことができないものです。これから講演会などを企画していきます。皆さんもぜひ参加してください。

3月28日(木)

家庭部会主催講演会

幸せ夫婦のコミュニケーション極意

～「性差の源」と「愛の第一言語」に気づくレッスン～



次年度からの活動に先駆けて、講演会を開催しました。山角病院臨床心理士の古田広久先生を講師に「幸せ夫婦のコミュニケーション極意」と題した講演やチェックリストを使ったグループワークを行い、「夫婦の愛情タンク」を満たすコツを学習しました。

地域部会

身近な地域で活動するため

地域部会では「性別や世代にとらわれず、交流と参画により躍動する地域づくり」を基本目標に、具体的にどのような活動をしていくのか話し合いました。地域から若者は離れ、少子高齢化が加速している現状。その中で、地域に根付いた活動をしている様々なグループが存在する事に注目し、その活動を知り、



▲こぶちさわ男女共生をすすめる会の紙芝居

それを地域の人達に紹介していく事が啓発活動に繋がるのではと考えました。

活動を始めるにあたり、長年男女共同参画推進活動が続いている小淵沢町の「男女共生をすすめる会」の方々に、活動の一つである紙芝居の出前講座をお願いしました。

1月には第一歩として「清里で語りを広める会」を訪ねました。テーマは「お茶を飲みながら民話を聞きましょう」。活動は毎月第2木曜日で、メンバーは女性10名。清里地区の参加者は送迎もお願いできます。図書館でボランティアとして語りをされていた方の「もっと身近な地域でも活動したい」という思いが会



▲清里で語りを広める会の様子

の始まりで、メンバーそれぞれが、自分のできる事で会に携わっているそうです。引き込まれるような民話と紙芝居の語り。手作りお菓子でお茶を飲みながら、ご年配の方が開拓当時のことを生き生きと話されていたのが印象的でした。

地域の人が集まれる場所がなくなりつつある今、このような会の必要性は増していると思います。人が集まれる場所として、各地区の公民館が生かされれば、地域活性化の拠点にもなるのではないのでしょうか。

職場部会

きょうは、カツカレー

イラスト：飯島あけみ



知ってますか?

1. 男性のみ働く世帯数より共働き世帯数が上回ったのはいつ頃?
2. 同居している家族の介護をする場合の男性と女性の割合は?
3. 夫が妻に持つ不満は?
4. 妻が夫に持つ不満は?
5. あなたはへそくりをしていますか?
6. 一ヶ月のごづかいは?

出典

1. 平成24年男女共同参画白書
2. 厚生労働省「国民生活意識調査」(平成22年)
- 3~6. 明治安田生命「いい夫婦の日」に関するアンケート調査(2012年)

今年度より新しいメンバーになり、新たな取り組みについて話し合いを進めてきました。とはいえ職場での男女共同参画といつてもその場面や立場においてテーマや課題は多岐に渡ります。まずは職場の現状を知りたい。そこで「子育てと仕事」をテーマとして、北杜市役所にお勤めで子育て中(中学生以下)の女性職員を対象にアンケート調査を行いました。

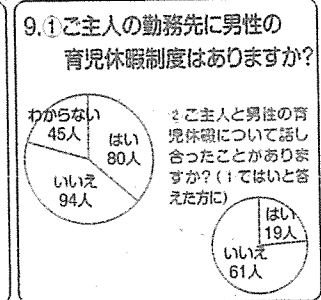
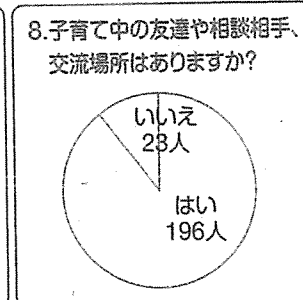
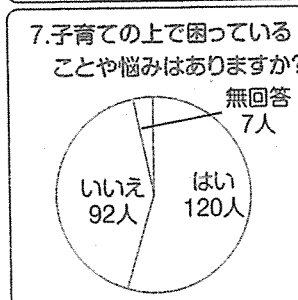
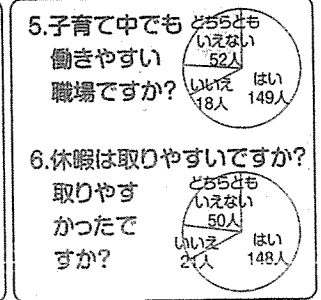
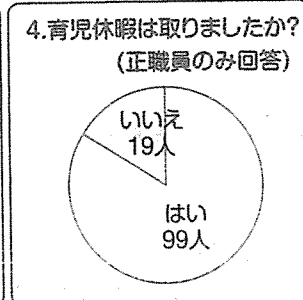
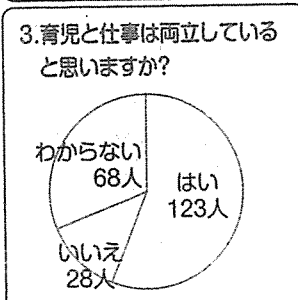
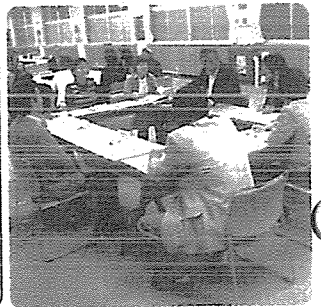
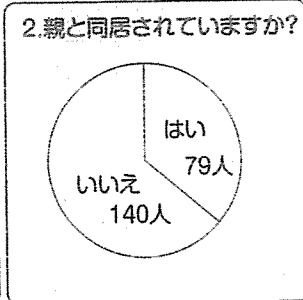
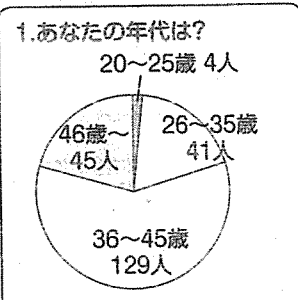
アンケートは、市役所各部署のご協力をいただき、平成25年1月に配布・回収を行い219名の方から回答をいただきました。結果に関してはこれから精査を進めますが、「育児と仕事

の両立」「育児休暇の取得」に関しては高い比率で「はい」という回答が多く、また同年代や同僚が多い職場であることもあり、友達や相談相手・交流の場の確保ができていたようでした。ご意見の中には「家族や上司・同僚への感謝」「職場の理解」などが多く見受けられ、周りの支えが子育てと仕事の両立には欠かせないようです。

今回は市役所職員を対象に行いましたが、民間企業や家族経営の職場などの現況はまた違った意見や回答が予想されると思います。男女がともに働きやすい環境を整え、仕事と生活が調和する「ほほえみの職場づくり」へ歩みは始まったばかりですが、着実な環境整備が進むことへの一助となればと思ひ、活動を進めていきます。

職場部会 男女共同参画に関するアンケート結果について

- ◆アンケート回収枚数 219枚
- ◆調査対象 市役所勤務の子育て中の女性職員(中学生以下)
(市役所本庁、総合支所、市立病院、出先機関の正・臨時職員)



活動紹介

北杜市大泉地区
男女共同参画
推進委員会

カップルで楽しむ

「スイーツ作り教室」開催



厳寒が続く2月17日(日)、大泉町内の施設において、「スイーツ作り教室」を開催し、15人の参加者はチーズスコーンとチョコレートマフィンに挑戦しました。手馴れた女性が料理初体験の男性に、親切に手助けする光景が見られ、開催した意義を感じました。

試食では上々の出来栄えに参加者一同舌鼓を打ち、「参加して良かった」との言葉を頂き、推進委員一同笑みがこぼれました。

グループ紹介⑤ 増富温泉峡婦人部(須玉町)

おかみ
女将さんたちが考える

おもてなしの心

平成元年4月1日、故八巻淑子様の声かけで増富ラジウム温泉峡婦人部として設立しました。現在、7軒9名の女将と若女将達は、「おもてなしの心」をモットーに、明るく元気にがんばっています。私達女将の自慢できる事は、今年で4年目になる「女将だより」(毎月1回)。月の行事とその季節にあった増富の様子や女将さん達の思いを載せています。

一つ目の行事は、5月第3土曜日に行う、東小尾地区の湯の権現様をお祭りする「火祭り」。神主さんに祝詞をあげて頂き、皆々様の無病息災を願い、おたき上げを行う行事です。この時、婦人部では地元の食材を中心に一人一品ずつ、丹精込めバラエティーに富んだ料理を販売し、売れ行きも上々でした。

二つ目は、7月上旬頃に行う「女将ふれあいラリー」。増富の自然を専門講師の方に説明して頂き、温泉峡にある遊歩道(約1キロ)を散策し、その後、女将達の手作り弁当(有料)を召し上がって頂きました。毎年好評です。

三つ目は、秋に開催した「温泉博覧会」。増富温泉峡観光協会では、大勢の方に増富を知って頂こうと様々なイベントをしました。婦人部では、「女将物産店・女将食堂・増富民話ラリー・増富民話紙芝居」を企画し、大勢の方にお越し頂き喜んで頂きました。

私達、女将一同、「おもてなしの心」を大事にし、お客様の笑顔に励まされながら、頑張りたいと思います。これからも行事を続けていきたいと思います。



本の紹介

「髭のノラ」

男女平等が世界最高水準にあるノルウェー。現地ルポを通してその実態を紹介します。

三井マリ子著
朝倉書店

「夫の終い方 妻の終い方」

と素直に発揮できるかも...

「お二人様の老後」を生き抜く知恵と悪知恵。「夫と妻」を「男と女」に戻してみたら個性をもっと素直に発揮できるかも...

中村メイコ著
PHP研究所

北杜市子育て 応援企業

北杜市では、子育て世代に魅力あるまちづくりを推進し、子育てと仕事の両立を図り子育て世代を地域に定着させるため、子育て支援に積極的に取り組む市内の企業・事業所を「子育て応援企業」に認定しています。認定企業には、認定書と認定マークを付与するとともに、その企業の取組内容を市ホームページなどで広く紹介しています。

認定企業一覧 (平成25年2月1日現在)

美容室みどりLoveEarth、須玉印刷、(公財)キープ協会、(有)平成総合企画、山梨銘醸(株)、大和リゾート(株)八ヶ岳ロイヤルホテル、ヴィンテージリゾート(株)、(株)ミヨシ、(社福)緑樹会、(有)アイユーホーム、帝京学園短期大学 子育て支援研究所、(株)丸政

詳しくは、市子育て支援課(電話42-1332)までお問い合わせください。



男女共同参画推進委員

◆明野 ◆大泉

小泉 徹 兼田 暁

小泉 優子 小宮山 修

篠原 計司 平井久美子

南 はやみ 三井みちる

◆須玉 ◆小淵沢

重田 直美 今井 一夫

篠原 陽良 小林千鶴子

中谷なおみ 滝沢 貞子

藤原 正明

◆高根 ◆白州

興水 良照 小林 進

松本 光子 辻 美佐子

保坂多枝子 中山ひと美

三井 勇 吉田恵美子

◆長坂 ◆武川

草野香寿恵 興石 宮子

小池 英幸 中山 和彦

興石 幸長 日向 春美

米倉 達史

あしがき

男女共同参画都市宣言がされてから1年が経過しようとしています。「杜のほほえみ」第7号も紙面を刷新し、お届け致します。時代も変化し、人生の過ごし方も変わってきています。

「今、何が必要か」様々な観点から推進委員が「地域」「職場」「家庭」の3部会に分かれ、月1回の定例会を行い活動しています。